

2022年9月11日(日)

第5回 東京都透析災害対策セミナー

東京都災害時透析看護の会の活動より ～透析室における災害発生時の初動対応～

東京都透析医会災害対策委員会
東京都災害時透析看護の会

○吉盛 友子、今井早良、上田聰美、松岡由美子

第5回 東京都透析災害対策セミナー

COI 開示

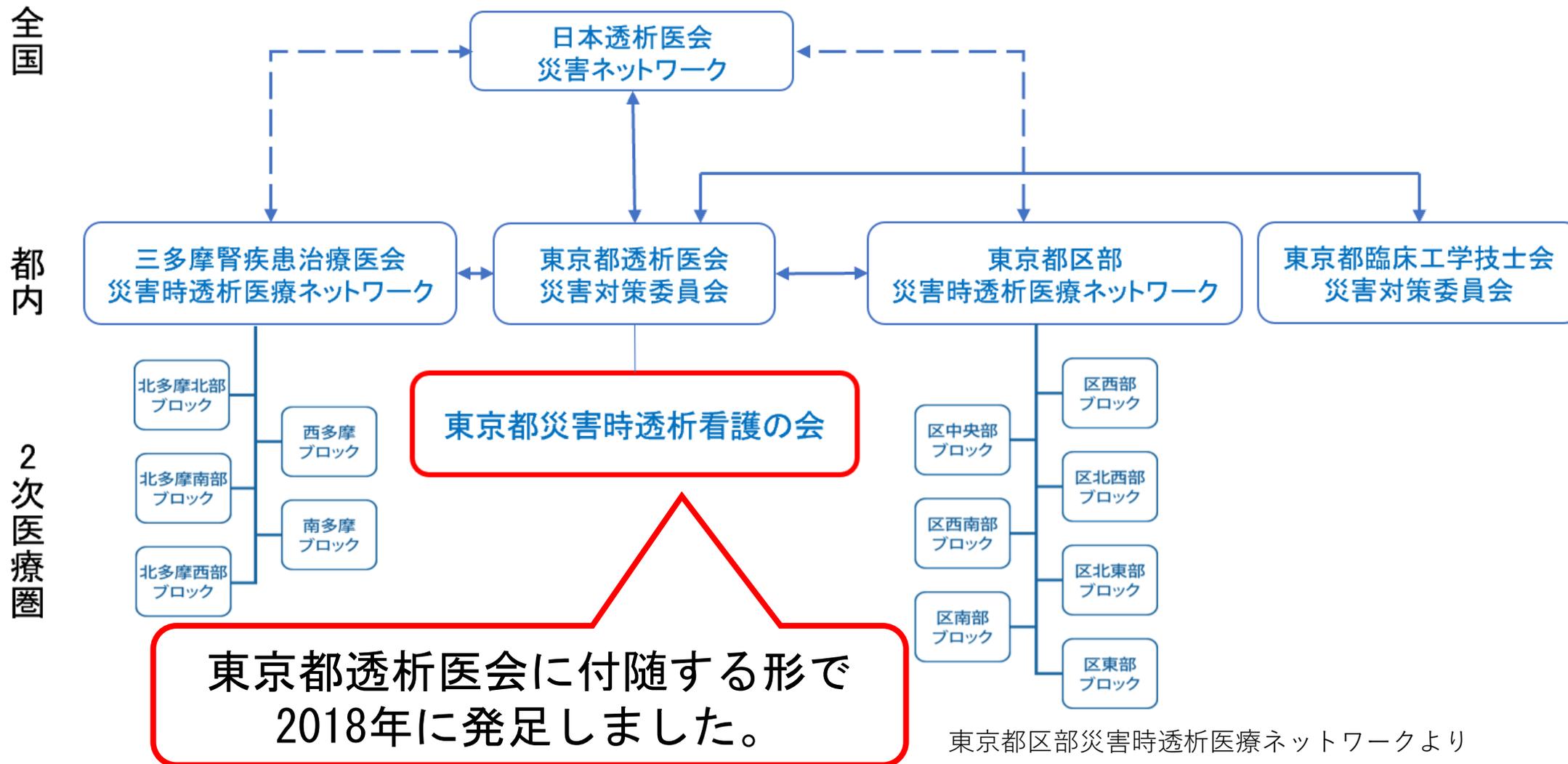
発表者名: 吉盛 友子

発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

本日の内容

- 東京都災害時透析看護の会 紹介
- 災害発生時に透析室で必要な初動対応
- 初動対応の助けとなるツール
- まとめ

災害時透析医療ネットワーク（東京都）



活動の目的

災害時の安全な透析医療継続のため、
東京都透析医会災害対策委員会と協働し、
患者および家族、医療スタッフを支えること。

活動の内容

1. 災害時の透析看護に必要な知識、技術を学び透析医療に貢献する
2. 災害時透析医療のシステム構築に貢献する
3. 医療従事者や地域災害対策を支える団体と連携して、透析医療を支える
4. 災害時の心を癒す支援のあり方を学び、患者と家族、医療スタッフを支える

第1回 東京都災害時透析看護の会

東京都の都区部、三多摩地区の透析施設の看護師等の方々と学びを共有

同じ地域の透析施設と顔の見える関係づくり



TokyoDIEMASのシステム構築への参加

災害時透析医療活動マニュアル改訂への参加



・ 『Tokyo DIEMAS』のシステム構築

・ 『災害時における透析医療活動マニュアル』の改訂

どちらも看護師の立場からの意見を取り入れて頂いています。

本日の内容

- 東京都災害時透析看護の会 紹介
- **災害発生時に透析室で必要な初動対応**
- 初動対応の助けとなるツール
- まとめ

災害の種類



地震



火事



水害

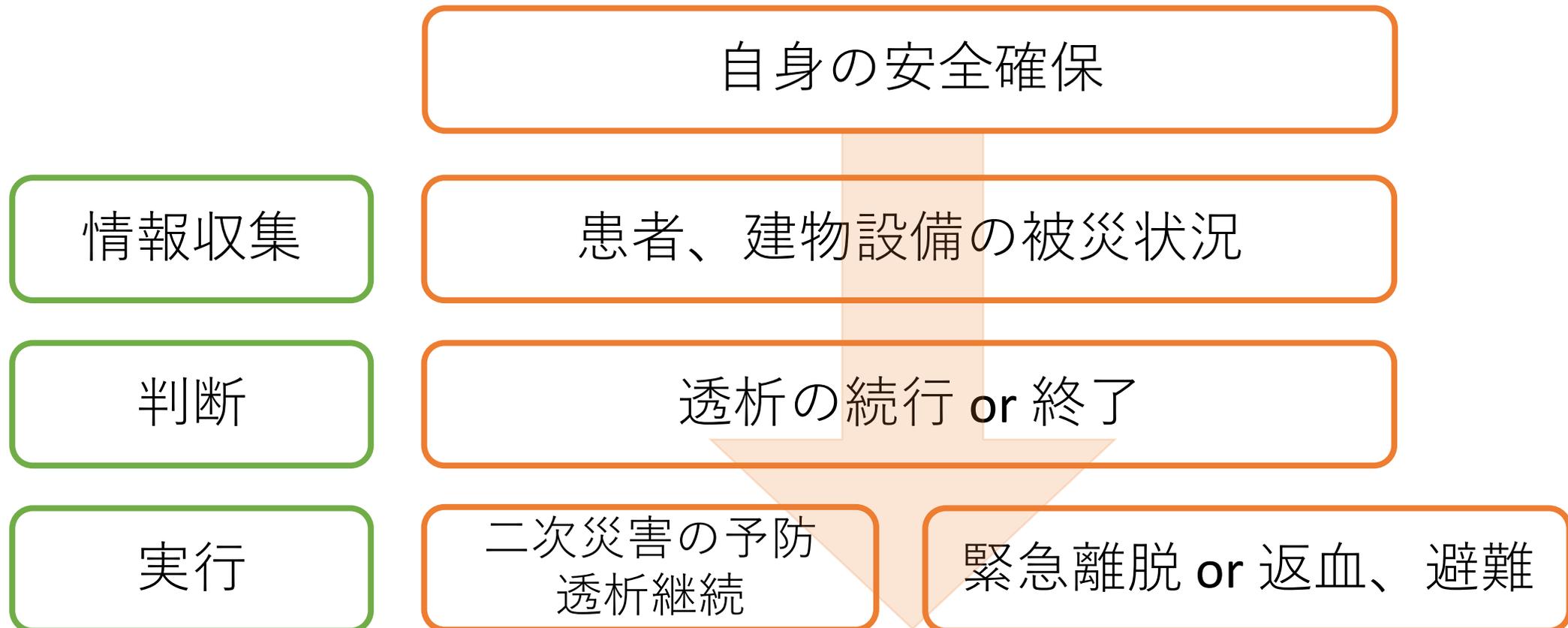


テロ
など

発災後の対応もそれぞれに違いはある

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生時、透析室のおもな流れ



災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

Command and Control

指揮・命令

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

Safety
安全

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S **C** A T T T

Communication

情報伝達

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C **A** T T T

Assessment

評価

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

Triage
トリアージ

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

Treatment
治療

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

Transport
搬送

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C S C A T T T

他職種や、初めて顔を合わせる医療従事者と協力し、
同じ方向性、共通の考え方で活動する必要がある。

災害発生時に透析室で必要な初動対応

災害発生後にとるべき行動の7つの基本原則

C : Command and Control	指揮・命令
S : Safety	安全
C : Communication	情報伝達
A : Assessment	評価

組織体制を確立する要素
TTTを円滑に進める上で
CSCAの確立が重要

T : Triage	トリアージ
T : Treatment	治療
T : Transport	搬送

CSCAが組織化されたら
医療活動を開始

透析室の C S C A T T T

を考えると...

<p>C 指揮・命令</p>	<p>透析室全体、医師、看護師、臨床工学技士のリーダーを決定、指示 他のスタッフは、各リーダーの指示に従って担当の場所で活動する</p>
<p>S 安全</p>	<p>自分の安全確認、活動場所の設備等の確認、患者の安全確認 3 S：自分自身（self）、現場（scene）、傷病者（survivor）</p>
<p>C 情報伝達</p>	<p>スタッフから各リーダーへ状況報告、クロノロジーを活用 Tokyo DIEMAS、日本透析医会災害時透析ネットワークでの報告 ※ 災害時対応で失敗する原因の最多は情報伝達の失敗といわれている</p>
<p>A 評価</p>	<p>3 Sの安全確保、傷病者の状態などから、マンパワーや医療資源の過不足の評価を行い、再分配する</p>

<p>C 指揮・命令</p>	<p>透析室全体、医師、看護師、臨床工学技士の各リーダーを決定、指示 他のスタッフは、各リーダーの指示に従って担当の場所で行動する</p>
<p>S 安全</p>	<p>自分の安全確認、活動場所の設備等の確認、患者の安全確認 3 S：自分自身（self）、現場（scene）、傷病者（survivor）</p>
<p>C 情報伝達</p>	<p>スタッフから各リーダーへ状況報告、クロノロジーを活用 Tokyo DIEMAS、日本透析医会災害時透析ネットワークでの報告 ※ 災害時対応で失敗する原因の最多は情報伝達の失敗といわれている</p>
<p>A 評価</p>	<p>3 Sの安全確保、傷病者の状態などから、マンパワーや医療資源の過不足の評価を行い、再分配する</p>

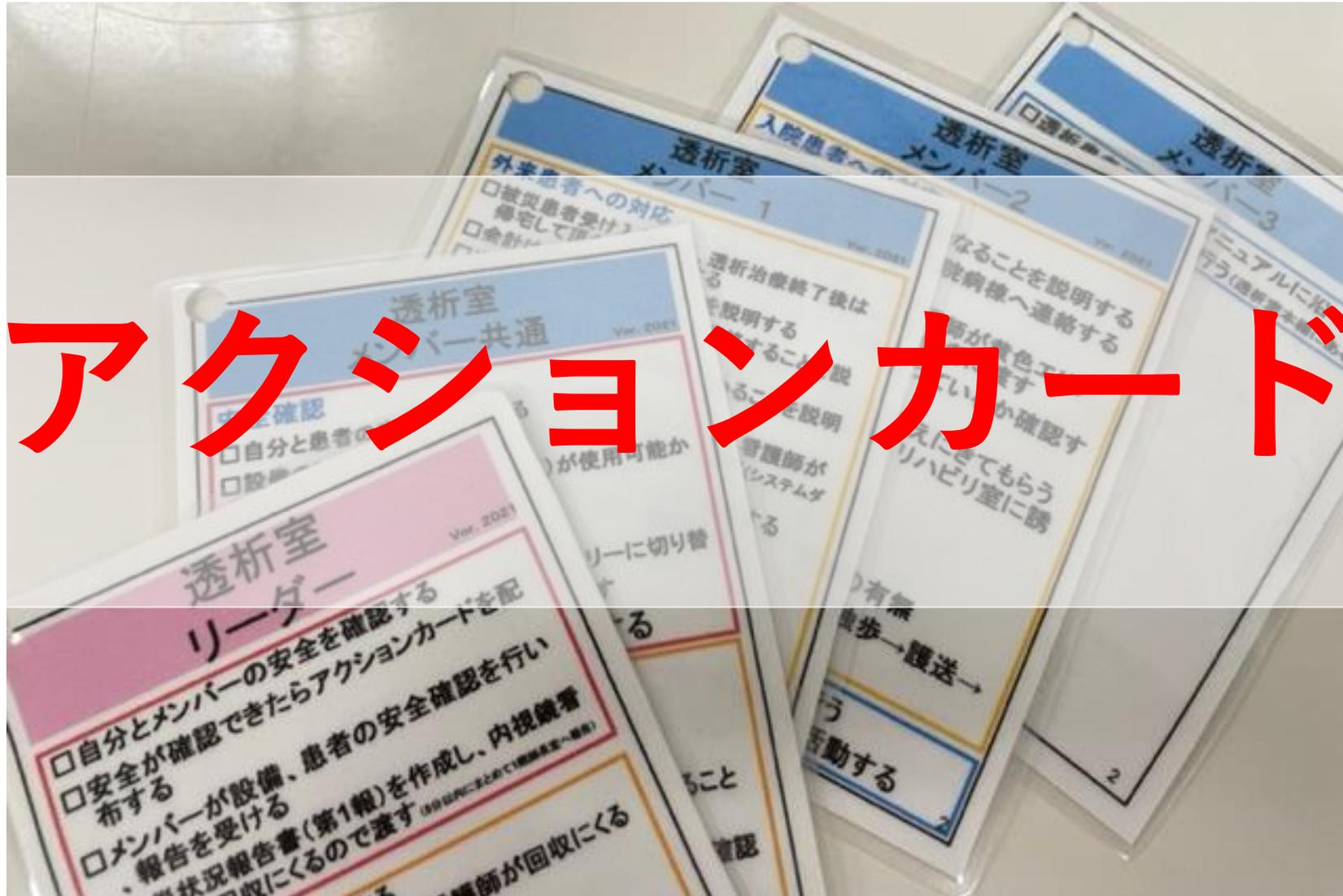
C S C A が確立されたら T T T を開始

<p>T トリアージ</p>	<p>返血や離脱などの順番、外傷等で処置が必要な患者のふるい分け</p>
<p>T 治療</p>	<p>返血や離脱、応急処置を実施</p>
<p>T 搬送</p>	<p>帰宅や避難などの誘導、患者の搬送、交通手段の確認</p>

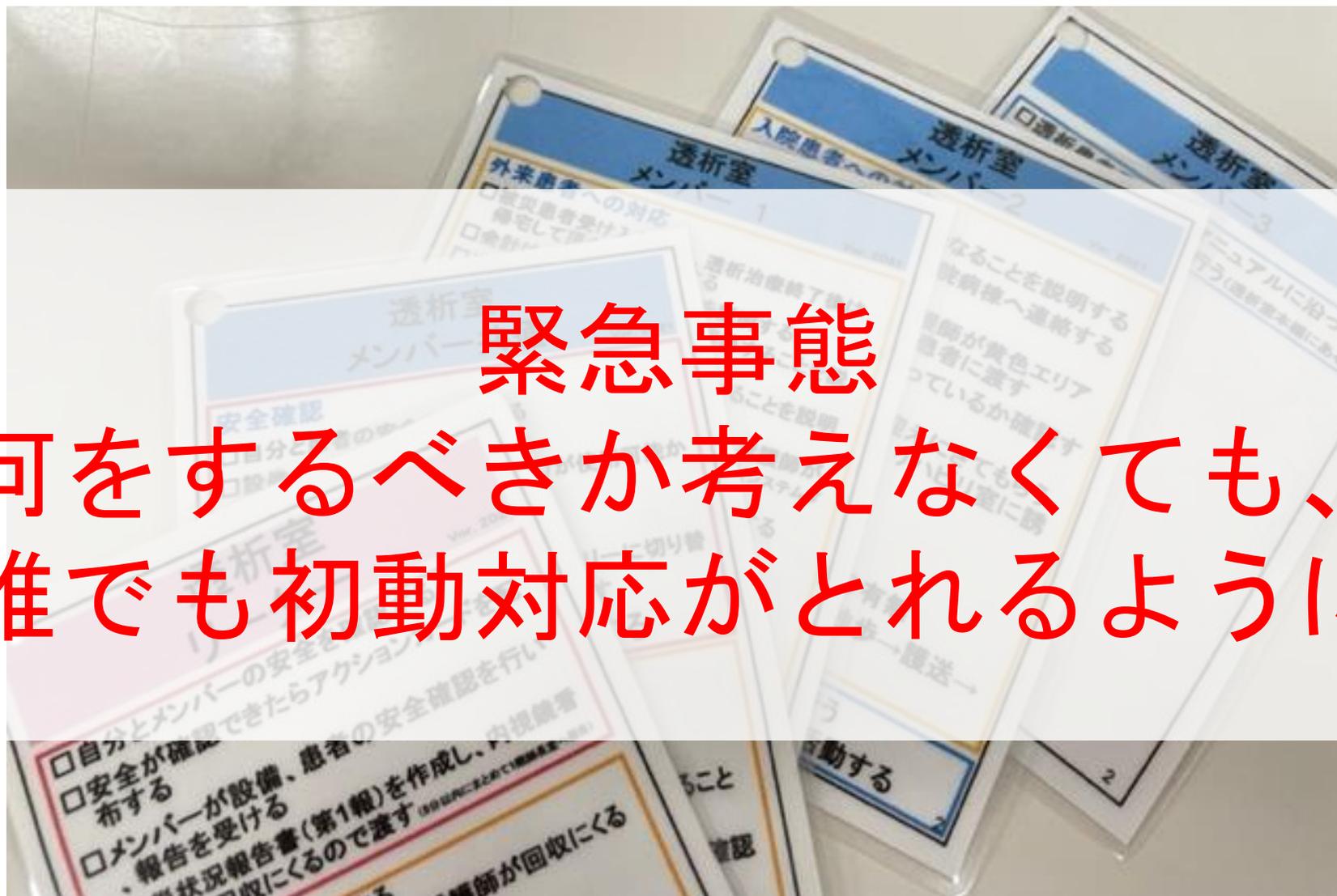
本日の内容

- 東京都災害時透析看護の会 紹介
- 災害発生時に透析室で必要な初動対応
- 初動対応の助けとなるツール
- まとめ

初動対応の助けとなるツール



初動対応の助けとなるツール



アクションカードの種類

- 職種で分ける

リーダーナース、スタッフナース、クラーク/看護助手

- 場所で分ける

ベッドサイド、バックヤード、ELVホール/待ち合い室

- 発災時の役割で分ける

状況把握、安全確保、避難準備、持出し物品準備

職 種

リーダーナース

- 自分自身の安全確保
- 患者に自己の安全を呼びかけ
※非常用マイク使用可
- **スタッフの所在確認・被害状況の確認**
- 患者の安否・被害状況の確認
各スタッフから、受け持ち患者の報告をうける
 - ①外来/入院患者数
 - ②担/護送人数
 - ③面会者
 - ④送迎者
 - ⑤受傷者
- **報告を受けた順にスタッフへ確認カードを渡す**
- **確認カードに沿った確認結果のまとめ**
- **医師へ被害状況を報告**
- **透析継続可否の指示を仰ぐ**
- 「患者・職員被災状況報告書」を記載
⇒災害対策本部へ提出・報告
- 「施設・設備被災状況報告書」を記載
⇒災害対策本部へ提出・報告

リーダーナース

- 避難が必要な場合は、避難誘導をスタッフへ指示
- 避難経路・移送方法の確認
- 避難時の持ち物（スタッフへ依頼可）
 - ①非常用持ち出し袋
 - ②管理日誌
 - ③患者一覧表
 - ④患者緊急連絡先リスト
- 必要時、酸素中央配管の閉鎖をスタッフへ指示
- 患者の安否コールの確認
- **都区部災害ネットワークからのメールの確認**
- **Tokyo DIEMAS 日本透析医会災害時情報ネットワークへ入力**

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

スタッフナース

- 自分自身の安全確保
- 患者に自己の安全を呼びかけ
※非常用マイク使用可
- 患者の安全確認
- ベッド周りの安全確認
- 患者の安否/被害状況を確認し、リーダーへ報告
 - ①外来/入院患者数 ②担/護送人数
 - ③面会者 ④送迎者
 - ⑤受傷者
- 各確認カードに沿った項目を確認
- 避難扉を開放 避難経路の確保
- 透析継続可否の指示を仰ぐ
- 透析継続不可能の場合は返血

スタッフナース

- 避難の有無の指示を仰ぐ
- 避難の場合は避難経路・移送方法を確認する
- 避難のための車椅子や階段避難車、担架等の準備
- 避難時に必要な処置の対応
CV、末梢ルート、酸素、NGT、術後のドレーン等
- 負傷者の手当
- リーダーへ適宜報告

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

クラーク・看護助手

- 自分の身の安全確保
- 各エリアの扉を開放
- セキュリティードアが開くか確認
- 待合室やエレベーターホールの患者・家族の確認
- エレベーター稼働状況の確認
- 電話が通じるか
- 電子カルテが使えるか
- パソコンの通信確認
- ライフラインの確認（水道・電気）
- リーダーへ適宜報告

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

場所

個室

場所

確認すること

個室

- 扉は開くか
- 非常口誘導灯がついているか

- 扉は開放する
- 照明器具は点灯しているか
- 天井・壁・床に破損がないか
- ガラスなどの散乱物がないか
- 避難経路を妨げるものはないか
- 配管からの漏水、断水等の異常がないか
- 医療ガスの破損がないか
- 電子カルテPCの異常がないか

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

エレベーターホール

場所	確認すること	
スタッフ用エレベーター	<input type="checkbox"/> ドアは開くか <input type="checkbox"/> 扉は開放する	<input type="checkbox"/> 照明器具は点灯しているか <input type="checkbox"/> 非常口誘導灯がついているか
患者用エレベーター	<input type="checkbox"/> ドアは開くか <input type="checkbox"/> 扉は開放する <input type="checkbox"/> 患者、家族の人数確認	<input type="checkbox"/> 天井・壁・床に破損はないか <input type="checkbox"/> ガラスなど散乱物はないか <input type="checkbox"/> 避難経路の妨げになるものがないか

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

バックヤード

場所	確認すること
非常階段	<input type="checkbox"/> 扉は開放する
休憩室	<input type="checkbox"/> 照明器具は点灯しているか
器材庫	<input type="checkbox"/> 非常口誘導灯がついているか
サニタリー	<input type="checkbox"/> 天井・壁・床に破損はないか
	<input type="checkbox"/> ガラスなど散乱物はないか
	<input type="checkbox"/> 避難経路の障害物はないか
	<input type="checkbox"/> 水道からの漏水等の異常はないか

※日本赤十字社医療センターで使用している
アクションカードを参考にさせて頂いています。

役割

状況把握

発災内容を把握せよ

- 発災の「内容」「場所」「程度」を把握せよ
- 発災内容を透析室災害リーダーに報告せよ

- 透析室内の被災状況を透析室災害リーダーに報告せよ
 - 体調不良、受傷患者・スタッフの状況
 - 透析実施前・透析中・終了後の患者数
 - 更衣室・控室にいる患者・家族などの数
 - 医療機器の破損状況
 - 避難経路の被災状況
- 透析室災害リーダーからの伝達事項をスタッフ、患者に伝達せよ
- 透析室災害リーダーの指示により、自施設の災害対策本部と情報共有せよ

自分の身の安全も確保せよ

安全確保

患者の身の安全を確保せよ

- 針が抜けた患者は止血せよ
- 受傷した患者は応急処置せよ
- 血液ポンプが止まっていたらすぐに『状況把握』担当に報告せよ
- 透析液、コンソールのトラブルは、すぐCEに報告せよ

- 状況に応じて患者に声をかけよ
 - 正確な情報提供
 - 不安を和らげる声掛け
 - 経時的な状態変化の観察
- 患者の傍から離れずに、『状況把握』担当に報告せよ
- 『状況把握』担当からの情報提供に関心を寄せよ

自分の身の安全も確保せよ

避難準備

避難するのか確認せよ

- 避難経路に問題がないか確認せよ
- 『状況把握』担当に避難路の状況を報告せよ
- 透析離脱用物品をベッドサイドに揃えよ
- 患者の不安に配慮せよ
- 患者に避難順番、方法を指示せよ

- 避難方法・経路を『状況把握』担当に確認せよ
- 避難方法・経路を、患者に、わかるように説明せよ
- 避難準備ができたなら『状況把握』担当に報告せよ

持ち出し

持ち出し物品を用意せよ

- ヘルメット・役割ゼッケン・拡声器など災害時用品を配布せよ
- ドアや窓を開けて固定し、退避通路を確保せよ
- 更衣室・待合室を見に行け

- 「独歩」「護送」「担送」患者数を『状況把握』担当に報告せよ
- 避難中に持ち出し物品を紛失しないよう注意せよ

初動対応の助けとなるツール

アクションカード作成時のポイント

- 発災直後からの優先度を考慮し、とるべき行動を時系列で記載する
- スタッフの行動レベルで記載する
- 端的に記載する
- 大きな文字、読みやすいフォントで記載する
 - 停電時などは文字が見えにくくなる
- 日中、夜間などスタッフの人数が異なっても実践可能な視点で作成する
 - 管理者、リーダー、スタッフナース、CE、事務員等、職種別に作成する
 - 各場所についての確認カードを作成する
 - 状況把握、安全確保、避難準備等、役割別に作成する

本日の内容

- 東京都災害時透析看護の会 紹介
- 災害発生時に透析室で必要な初動対応
- 初動対応の助けとなるツール
- まとめ

まとめ

初動対応は、いざ発災した時に行動を思い出すのは困難である。

アクションカードなど初動対応がすぐにわかるツールを用意しておき、日頃からすぐ確認できる場所に置いておく。

災害時の初動対応について、知っておくことが重要。

新型コロナウイルスや豪雨災害など、地震以外においても近隣の施設との連携は重要視されてきている。

東京都全体としての災害対策はもとより、各施設やブロックでの災害対策についても検討が必要と考える。

今後の活動

- 透析室の災害対策を考えるきっかけとなる情報の発信
- 近隣の施設同士、顔の見える関係づくりの場、看護師間での連携方法の検討